



第117号
島根県立
出雲工業高等学校
進路指導部
印刷 (有)西村印刷

広い視野をもって

教頭 松原紀夫

今年度の卒業生も、コロナ禍により例年と違った高校生活を送ることになりました。実施できなかった学校行事がたくさんあり、思い出をつくってあげられなかった悔しさがあります。進路においては、ほぼ例年並みの求人を見ていただき、11月末までで全員の就職内定を得ることができました。また、就職内定者の7割強が県内で就職することになり、地元産業への貢献ができています。進学を選んだ人も高度な専門知識を身につけてそれぞれの道で活躍してくれることを期待しています。

コロナウイルス感染症の収束にはまだ時間がかかることでしょうが、このような状況でも業績を伸ばしたり、様々な知恵を出し合って異業種間で新たな事業を展開したりしている話を聞くと勇気づけられます。今自分が持っているものをどれだけ活かせるかがこれからの社会を生き抜いていくヒントになる気がします。これから勤める企業の力を別の視点から見ることが必要であ

るということです。皆さんが会社に入るとすぐに貢献できるほどの力を持つていくわけなので、まずは、できること、持てることを増やしていったほしいと思います。力を付けた皆さんがそれぞれの道で広い視野をもって活躍されることを期待しております。

5Gや電気自動車、自動運転、宇宙開発など新しい技術の発展は、我々に夢を与え、安全で快適な暮らしを約束してくれるものです。おそらくこれらのミッションは、突飛もない発想から生まれ、長い年月をかけて実現化されてきたものが多いと思います。途中で挫折しそうなことも当然あったと思われま。それでもここまでたどり着けたのは、ミッションの目的を見失わなかったことと、協力してくれる仲間がいたことではないでしょうか。どんな業種、仕事に就くことになるにしても、目的と仲間、この2つを大切に、今自分のもっているものを最大限に活用してほしいと思います。本校は、ものづくりを教育の中心に

位置づけている学校です。地域に愛され、必要とされる存在であり続けたいと思います。

R4年度の進路状況について

進路指導部長 大森直人

今年度卒業する生徒の皆さんは、入学当初からコロナ感染症が蔓延し、1年次には休校や部分登校がありました。また、今年度の求人開始後にも休校となり、進路活動にとつて大変な三年間だったと思います。一方、コロナ三年目となったため、企業の求人活動は三年前の状況に徐々に戻りました。五年前にも同じ記事を書きました。その時は県内の求人倍率が3倍程度だったものが、今年度は6倍以上となっています。しかし、現在でもコロナ感染症は収束しておらず、来年度も予断がならない状況です。

図1に求人数の推移を示しています。これによると、コロナ感染症によりR2年度の求人数はR元年度より減少し、その後、増加しています。今年度は県内外全数で昨年度比14%増となりました。コロナ感染症だけでなく、少子化や海外の世情不安による工場の国内回帰等が影響し、全国的に人手不足が生じています。表1に今年度三年生の進路状況を掲載

していますが、今年度は就職と進学比率が65対35となりました。他校は進学者が増加しているようですが、本校は比較的就職者が多いです。

就職についてみると、今年度の特徴は、一つの企業で多くの職種の求人があったこと、「就職進学」の求人が復活したこと、公務員募集が増えたことです。製造業や建設業では様々な職種の人が働いており、製造から営業までの職があります。製造業でオペレーターや保守などが、建設業で設計や現場監督、施工などがあります。今年度は多くの企業で職種を変えた求人をいただいています。また、「就職進学」は、就職内定後に上級学校の試験を受け、企業に所属しながら上級学校で学習します。企業が学習費用を拠出し、卒業後はその企業で働きます。企業にとつて、知識のある人材を確保できることがメリットです。今年度は就職進学の求人が3件あり、本校でも1名がこの制度で就職内定しました。一方、公務員も世代交代が進んでいるようで、今までなかった応募が今年度ありました。地方公共団体の求人活動も活発になっています。公務員は、県職員2名、県警察官2名、自衛隊1名の計5名が合格しています。

進学では大学や各種学校に合格しています。大学・短大で24名、専門学校で26名です。国立大学では、島根大学に2名合格しています。本校では、進学受験のほとんどが学校推薦型選抜(指定校制、公募制)と

総合型選抜(旧AO)です。大学・短大の学校推薦型は11月出願、12月合格発表、総合型は9月出願、11月合格発表となり、専門学校はそれよりも早い時期となっております。

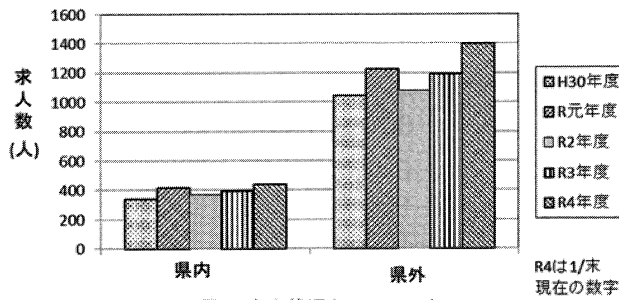


図1 求人状況(H30-R4)

進学先の分野は専門学校も含め、多岐に渡りますが、やはり、工業系の分野が多いです。進学する生徒は入学目的を明確にし、さらに卒業後の就職先を見据えて、受験先を検討してください。また、県内には上級学校が少ないですが、県内にある学校を選び、県外に出た生徒も上級学校卒業後は県内に戻って働いてほしいです。表2に今年度三年生の進路先一覧を記載しています。一、二年生の皆さんは、先輩である三年

生の進路先を参考に、今後の進路を決定してください。

インターンシップについて
(二年生十一月に実施)

二年生の進路活動には、五月企業説明会、七月県内企業見学、九月県外企業見学、十一月インターンシップがあります。七月県内企業見学はコロナ感染症の影響で、残念ながら中止となりましたが、十月に建築科のみ実施しました。県内外を問わず、たくさんの方の企業を知り、仕事について理解を深めてほしいと思います。さて、本校の進路活動で、最も企業と関わる進路行事がインターンシップ(職場体験)です。今年度は49社のご協力をいただき、十一月八日か

表1 3年生進路状況(令和5年1月31日現在)

科	在籍	就職				自営 その他	進学			計
		県内	県外	公務員	計		大学	短大 高専	各種 学校	
機械	32	13	5	2	20		4	1	7	12
建築	40	18	1	2	21	1	8		10	18
電気	36	17	13		30	1	2		3	5
電子機械	38	19	2	1	22	1	8	1	6	15
合計	146	67	21	5	93	3	22	2	26	50
	%	72.0%	22.6%	5.4%	63.7%	2.1%	44.0%	4.0%	52.0%	34.2%

表2 令和4年度 進路先一覧

機械科	建築科	電気科	電子機械科
<p>【県内就職】</p> <p>株式会社出雲村田製作所(2) 出雲グリーン株式会社 イマックス株式会社 サン電子工業株式会社 出雲工場 株式会社ジェイ・エム・エス 出雲工場 株式会社ジェイ・オー・ファーマ(2) 島根島津株式会社 株式会社ハンナンテックス ホシザキ株式会社 島根工場 株式会社吉川製作所 株式会社渡部製鋼所</p> <p>【県外就職】</p> <p>四国旅客鉄道株式会社 トヨタ自動車株式会社 三菱ふそうトラック・バス株式会社 九州ふそう 株式会社矢田製作所 株式会社ヤマダデンキ</p> <p>【公務員】</p> <p>島根県警察官 陸上自衛隊 一般曹候補生</p> <p>【大学・短大】</p> <p>朝日大学 法学部法学科 神戸国際大学 経済学部経済経営学科(2) 広島工業大学 工学部知能機械工学科 広島文化学園短期大学 食物栄養科</p> <p>【専門学校】</p> <p>出雲医療看護専門学校 臨床工学士科 京都伝統工芸大学校 伝統工芸学科 島根県立東部高等技術校 自動車工学科(2) 東京バルエボック製菓調理専門学校 調理師科 広島工業大学専門学校 建築学科 広島工業大学専門学校 情報学科</p>	<p>【県内就職】</p> <p>株式会社イズコン 一畑建設株式会社 今井産業株式会社(2) 今岡工業株式会社 岩崎建設株式会社 株式会社コスモ建設コンサルタント 株式会社ジェイ・オー・ファーマ 有限会社塩野建築設計事務所 株式会社テクノシステム 株式会社トガノ建設 株式会社内藤組 内藤建設工業株式会社 株式会社中筋組(2) 永見匠送 株式会社フクダ 株式会社御船組 有限会社吉原木工所</p> <p>【県外就職】</p> <p>鹿島クレス株式会社 西日本支社</p> <p>【公務員】</p> <p>島根県職員 建築(2)</p> <p>【大学・短大】</p> <p>大阪産業大学 デザイン学部建築環境デザイン学科 京都芸術大学 環境デザイン学科 近畿大学 工学部建築学科 島根大学 総合理工学部建築デザイン学科 西日本工業大学 デザイン学部建築学科 広島工業大学 工学部建築工学科 福山大学 工学部建築学科 山梨学院大学 法学部</p> <p>【専門学校】</p> <p>六歌デザイン専門学校 インテリアデザイン科 島根県歯技師専門学校 歯科衛生士科 島根県立東部高等技術校 建築科(3) 島根県立東部高等技術校 美容科 広島工業大学専門学校 建築学科 広島ビューティアドesign専門学校 フライダルプロデュース科 ヒューマンアカデミー-広島校 美容科 福岡ビューティーアート専門学校 美容科</p>	<p>【県内就職】</p> <p>株式会社内村電機工務店(2) 株式会社三友電工 三和電工株式会社(2) 島根電工株式会社(5) 株式会社島根富士通 株式会社ソラスト 島根支社 大成電気水道工業株式会社 有限会社田野建設事務所 日昇電設株式会社 三島建築 株式会社八束電工 山代電気工業株式会社</p> <p>【県外就職】</p> <p>株式会社きんでん 株式会社サコダ車輛 一般財団法人中国電気保安協会(2) 中国電力ネットワーク株式会社(2) 株式会社中電工(3) 中電プラント株式会社 株式会社電力サポート中国 マツダ株式会社 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 中国支社</p> <p>【大学・短大】</p> <p>環太平洋大学 体育学科 島根大学 総合理工学部機械・電気電子工学科</p> <p>【専門学校】</p> <p>NSC 神戸電子専門学校 情報処理科 中国四国語文大学校</p>	<p>【県内就職】</p> <p>株式会社出雲村田製作所(6) 株式会社オーエム機械 穴道工場(2) 株式会社ジェイ・エム・エス 出雲工場 株式会社ジェイ・オー・ファーマ 島根電工株式会社 島根島津株式会社(3) 島根ナカバヤシ株式会社 島根電工株式会社 ヒカワ精工株式会社 ヒラタ精機株式会社 和幸電通株式会社</p> <p>【県外就職】</p> <p>神戸天然物化学株式会社 株式会社メガネトップ</p> <p>【公務員】</p> <p>島根県警察官</p> <p>【大学・短大】</p> <p>金沢工業大学 フロンティア学部メディア情報学科 岐阜協立大学 経済学部スポーツ経済学科 広島工業大学 情報学部情報工学科(2) 広島工業大学 工学部電子情報工学科(2) 広島工業大学 生命学部生体医工学科 鳥取短期大学 生活学科情報経営専攻</p> <p>【専門学校】</p> <p>出雲医療看護専門学校 理学療法学科 MSI-医療専門学校 柔道整復師・スポーツトレーナー科 大阪リソートアンドスポーツ専門学校 スポーツトレーナー科 専門学校内ビジネスカレッジ IT専攻モバイルエンジニアコース 広島情報ITフューチャー専門学校 ゲームプログラミングコース 広島情報ITフューチャー専門学校 情報IT学科ITデザイン科</p>

ら十日の三日間で行いました。この行事は、本校では平成の初めから実施されており、平成十四年に電子機械科が開始して、全科で同じ日に実施されるようになりました。従って、学校の行事として行うのが今年度で二十回目となります(平成二三年度はインフルエンザで中止)。インターシップは、実際に工場や現場に入り、従業員の方と一緒に仕事を行う貴重な体験です。企業と打ち合わせを行い、できるだけ実際と近い作業をさせていただき、かつ、事故等がないようにお願いしています。企業と一緒にいって工業人として生徒の育成を行っている活動ですが、企業の方には人と時間を割いて生徒の指導を行っていただいています。

このインターシップを経験して、同じ企業に就職した生徒がたくさんいます。表3は、二年生でインターシップを経験し、次年度の三年生で同じ企業に内定した割合を示します。同じ生徒が内定したとは限定せず、本校生が内定した場合をカウントしました。同級生の影

表3

インターシップ企業数	うち内定企業
H29年度 62社	H30年度 24社
H30年度 57社	R元年度 29社
R元年度 54社	R2年度 20社
R2年度 54社	R3年度 21社
R3年度 54社	R4年度 30社

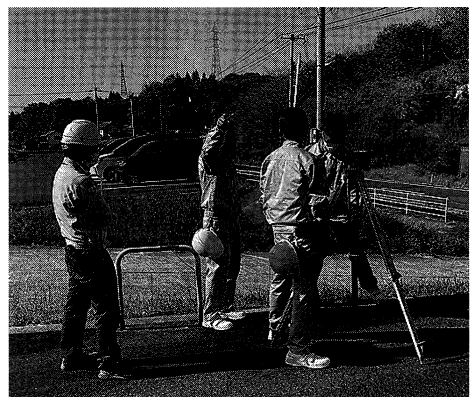
響を受けて企業を選んだことも想定しています。結果は、科によって差がありますが、ほぼ半分程度がインターシップに行った企業に内定しています。進学した生徒もいる中で、インターシップで知った企業を選んで受験・内定しています。今後もインターシップで企業名や仕事の内容を知り、貴重な体験を受けることができるこの事業を継続していきたいと思っています。

**【今年度インターシップ先】
機械科**

(株)ダイハツメタル 出雲工場、(株)吉川製作所、一畑電車(株)、(株)スター精機、(株)中田製作所、(株)渡部製鋼所、JAしまね斐川地区本部 農機センター、(株)原商 出雲サービス工場、イマックス(株)、(株)日発オートセンター、(株)ハンナンテックス、(株)島根富士通、ヒラタ精機(株)

建築科

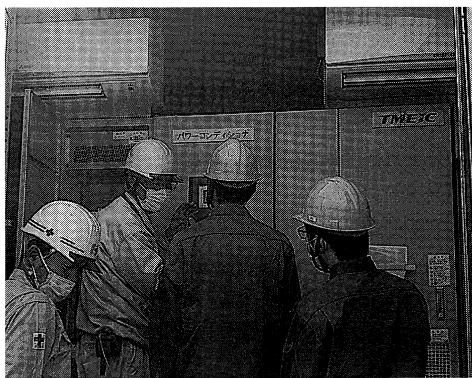
今岡工業(株)、岩崎建設(有)、(株)トガ



ノ建設、(株)内藤組、(株)中筋組、岩成工業(株)、(株)フクダ、ヒロシ(株)、(株)御船組、昭和開発工業(株)、(有)石川工務店、(有)塩野建築設計事務所、(株)山根一史建築設計事務所

電気科

中国電力ネットワーク(株)出雲ネットワークセンター、(株)八興電気、



(株)中電工 出雲営業所、島根電工(株)出雲支店、(株)内村電機工務店、(一財)中国電気保安協会 出雲営業所、山代電気工業(株) 出雲営業所、神州電気(株)、大成電気水道工業(株)、三和電工(株)出雲支店、(株)八束電工 出雲営業所、昭栄電気(株)、サンベ電気(株)出雲営業所、日晃電設(株)、(株)三友電工、一畑住設(株) 平田営業所、(有)渡部電気工事

電子機械科

サン電子工業(株)出雲工場、島根トヨタ自動車(株)出雲店、ヒラタ精機(株)、(株)島根富士通、島根島津(株)



トヨタカローラ島根(株)出雲店、(株)ハンナンテックス、(株)島根情報処理センター、山陰パナソニック(株)

インターシップ以外にも、年間を通して様々な進路行事があります。実施ごとにキャリアパスポートに書き留め、進路における自己の成長を確認してください。

進路について

機械科三年担任 平田 敏

高校生活において「進路」という言葉をよく耳にします。そして生徒の皆さんにとって、意識せざるを得ない言葉でもあるでしょう。ところで、この「進路」という言葉をどう捉えているでしょうか。あくまで私なりの解釈ですが、文字通り「進む路（みち）」であって、特定の一地点を指すものではないと思っています。

毎年、多くの三年生は次の就職先なり進学先なりを決定して高校を卒業します。苦悩や困難を乗り越えて、採用内定や合格の通知が届いた時の喜びはとても大きいでしょう。私も今年度は三年生担任としてその喜びをたくさん分けてもらいました。ただ、私なりの解釈で言えば、その決定は「進路決定」ではありません。新たなスタート地点が決定したに過ぎないのです。（念のため：絶対にゴール地点ではありませんので！）スタート地点が決まったからといって、道が一本に決まるわけではありません。

「人生は選択の連続である」という言葉を聞いたことがあります。正にその通りで、別れ道がたくさんあり、進みやすい舗装されたような道もあれば、できれば避けたい険しい道もあるでしょう。時には道が見えなくても自分で切り拓く必要があるかもしれません。それでも進み続けて、初めて「進路」が出来上がっていくのではないかと私は考えます。

思い通りのスタート地点に立てた

人も、そうでない人もいるでしょう。しかし、繰り返しになりますが、それで「進路」が決まるわけではありません。です。現状に満足して立ち止まっている場合ではないでしょうし、落胆する必要もないのです。自分なりのゴール地点（目標）、さらに新たなスタート地点に向かって進み続けることの方が大切です。

：というようなことを、今年度三年生担任をしながら感じました。ちなみに「一、二年生の皆さん」「出雲工業高校に入学」というスタート地点からどんな道を進んできたのでしょうか。これから何に向かって、どう進んでいくのでしょうか。

「3年担任を通して感じたこと、伝えたいこと」

建築科三年担任 安達純子

教員になって初めて高校3年生の担任を経験し、高校教員が生徒たちの人生の岐路に大きく関わっていることを実感しました。進路の活動を通して、出雲工業高校の生徒のみなさんに伝えたいことは次の3つです。

①進路についての話をたくさんする。
②進路に迷っているなら、なおさら成績を上げる。③出雲工業高校生として誇りと自信を持つ。

高校生のみなさんの中には、保護者の方と話すより、気の合う友人と話す方が楽しくて、自分らしくいることができると感じる人もいます。しかし、保護者の方と進路について話す時間を疎かにすると、自分の望む進路を諦めたり、周りの人に余計な心配や迷惑をかけたります。そのような結果にならないよう、みなさんの方から進路についての会話をして下さい。「高校生の時、進路はいつ決めた？」から始まる会話でも良いと思います。また、保護者だけでなく、周りの大人とも進路に関する話をたくさんして、思考を「進路モード」に切り替えていきましょう。

現在、就職か進学か、県外か県内かが未定の人もいます。将来、どこで何をしていたいか分からない、自分に何ができるか分からない人は、とにかく成績を上げて下さい。教員になって、成績（評定平均）と進路が密接に関わっていることを実感しました。基本給や休暇が多く、福利厚生の良い企業には、希望が殺到します。そのような企業に受験できるように、成績を上げるための努力を惜しまないようにしましょう。また、成績が指定校推薦の基準に届かず、希望する大学を受験できないこともあります。そのような結果にならないよう、日々の授業を大切に、提出物の期限や質にこだわりを持ち、定期試験にがむしゃらに取り組んで下さい。

地元の建設業の方と会って高校生が進路についてお話をした際、高校生の力が必要とされていることを実感しました。特に、出雲工業高校の生徒は、卒業生が活躍している企業が多いので、地元の企業で就職して

欲しいという熱い思いを感じました。企業から求められている人材ということを自覚し、自信を持って進路活動に取り組んで欲しいです。

進路について

電気科三年担任 刑部 聖

今年度の電気科3年生36名の進路は、就職31名、進学5名でした。

就職者の中では中国電力グループを始め、島根電工など電気に関する職業に就いたのが24名と、多くの人が直接電気と関わる仕事を選びました。

この1年、初めて出雲工業高校の教員として色々な企業と話をする機会がありました。特に感じたのは出雲工業高校はとも期待されているということ。「出雲工業高校の生徒が欲しい！」「募集の本命です！」という言葉や「出雲営業所のほとんどは出雲工業高校の卒業生」や「所長も出雲工業高校OBです」など……。多くの先輩方の活躍を感じました。1年生、2年生のみなさんも目標を持って先輩方の後に続いて欲しいと思います。

さて、今年度の3年生は、4月の時点で大まかな進路希望が決まっている生徒が多かったように思います。1年生、2年生のみなさんは進路についてどのくらい考えているでしょうか？就職、進学どちらの場合も3年生の7月にある三者面談までに具体的な企業名や学校名を決めておか

ないといけません。3年生になってから進路を考え始めると、部活動をやっている人は総体や選手権などがあり、なかなか自分の希望・向いているところを見つけることができなくなります。「まだまだ早い」と思う内から少しずつ考えるようにしましょう。特に大切にして欲しいのは、保護者さんとの話し合いです。

私自身の時はどうだったかというところ、3年生になった時には専門学校を希望していました。面談の場で初めて大学へ進学させたいという父親の考えを聞き、非常に驚いたことを覚えていきます。そこから両親とお互いの考えを伝え合い、時には衝突しながら最終的には納得し大学進学を選びました。それからは高校生活最後のイベントの数々と入試に向けてとても慌ただしく、時間に追われて過ぎていった記憶があります。

私とは逆に保護者さんに自分の希望を納得してもらえない人もいます。どちらの場合もお互いの心の準備、金銭面、試験に向けてなど、様々な準備に時間がかかります。少しでも希望したい進路があるのならなおさらに早めに保護者さんと話をしておくことをおすすめします。みなさんの進路が明るいものであることを願っています。

「好き」を探そう

電子機械科三年 担任 坂田 一

今年度の進路状況は、就職が22名

(58%)、進学が15名(39%)、その他1名でした。就職希望者が約6割とやや多い状況でした。

就職希望者の内定先は、県外企業が2社含まれていますが、勤務地は県内の事業所であり、結果的に、全員が県内での就職となりました。

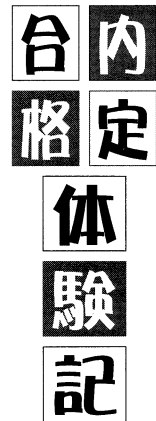
一方、進学希望者の内訳は、4年生大学が8名、短大が1名、専門学校が6名でした。県内の専門学校を志望した2名以外が県外への進学となりました。より高度な知識を学ぶために工学部や情報学部を志望する者。理学療法士やスポーツトレーナーなどの将来に直結する知識や資格を求めて進学する者。上級学校でも部活動を続けたいという思いで進学する者。各人がそれぞれの思いを胸に進学を決定してきました。

進路決定は、3年生の半年間で行うものではありません。1年生から様々な事の積み重ねです。1・2年生の皆さんには、多方面に興味のアンテナを張り巡らせて、様々な情報を集めてほしいと思います。

S3では1年生の時から、夏休みの期間中に興味のある新聞記事を集める課題に取り組みました。記事の内容を各自で掘り下げ、どこに興味を持ったかのコメントを付けることで相手に伝える練習を行いました。

受験時の面接では、志望動機や自分の良さを相手に伝える必要があります。そのためにも、学校行事や部活動だけでなく、日々の暮らしや趣味の事柄など、なんでもいいので様々なことに興味を持ち、自分の中の

「好き」をたくさん集めて下さい。「好き」を探すことは、自分の進路を探す大事な足掛りとなるはずですよ。



人生の選択

機械科三年 平野 信ノ介

私たちが生活する地域は、移動するために車が欠かせなく、誰もが必要としています。また家族との憩いの場をつくってくれます。私はそんな自動車の製造に携わる仕事に就きたいと思い、出雲工業高校へ入学しました。しかし、最初の頃はまだ具体的な企業は決まっておらず、まずは今できる勉強や部活動を一生懸命頑張ろうと思ひ励んできました。

進路決定をしていく中で、なかなか企業が決まらず、過去の求人票を何度も見て企業を探したり、担任の先生や機械科の先生にも相談したりしました。そこで、ある自動車メーカーに行きたいと思うようになりました。

就職試験に向けて履歴書作成や面接練習などに取りかかり、ほぼ毎日先生方に時間を割いて頂き、言葉のつかい方から声の大きさなど細かく指導して頂きました。試験当日はとても緊張して練習したことが発揮できるか不安でしたが筆記試験、面接試験ともに、しっかりとやりきるこ

ができました。

この受験を通して多くの人の支えがあつて人は夢を実現することができると言うことを学びました。一人ではなかなかできなかったと思います。仲間や先生方、家族の支えのおかげでどんなことでも乗り越えることができました。皆さんには今後できることを全力で行い、自分の目指す進路に向けて頑張ってください。

最後になりましたが、今まで指導してくださった先生方、応援してくれた友達、家族、本当にありがとうございました。

自分の進むべき道に

向き合う

建築科三年 佐藤 彩也香

私は小学4年生の時から家のリフォーム、リノベーションをするテレビの番組をよく見ていました。その時に、間取りやデザインを考え、家を再生する事に素晴らしいと感じました。また、古いものを捨てるのではなく新しい技術と組み合わせ、家ごとの思い出を残し、人を笑顔にする建築士という職業に興味を持ちました。

住宅の完成見学会へ両親に連れて行ってもらい、建物の特徴を覚えてもらいながら聞き、私もこんな家を建ててみたいと思ったことが一番の原点だと思っています。中学校では、色彩やデザインを学べると思い、美術部に入学しました。部活を通してより色彩やデザインが好きになりました。

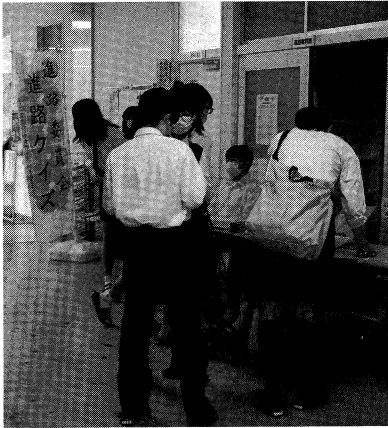
出雲工業高校の建築科を受験しよ

うと思ったのは、建築の基礎を学べる事が一番の理由ですが、小学校、中学校で学んだ蓄積があった事が決めてとなりました。高校在学中にはボランティアの講師による、AUTO CADの講習にも参加し、CADの初歩的な講習ではありましたが、どんなことでも自分自身のプラスになると思い貪欲に追及しました。その事で、私なりに見識が広くなった様に思えます。

進路決定は、3年生の4月に2校ぐらいに絞り、5月に1校に絞って、6月に専門学校の見学も兼ねて、オープンキャンパスに参加しました。校内の雰囲気も良く設備も整っていたので、「進学するのはここだ!」と確信しました。大学も選択肢の一つですが、大学へ行って研究が中心になるより、資格を多く取り、より実践向きになりたいと思いました。

進路を決める時に真剣に相談に乗ってくれた両親や先生にはとても感謝しています。また、自立する道を自ら示してくれた兄や姉の存在はとて

文化祭の一場面・・・進路委員会による進路クイズ



も刺激になりました。本当にありがとうございました。

努力の積み重ね

電気科三年 広田侑斗

私は入学当初、工業高校の生徒は就職する人ばかりだと思っていました。しかし、実際は就職だけでなく、進学される先輩方も多くいることを知りました。また、進学される先輩の中には島根大学に入学した人もいることを知りました。1年生の頃から定期テストや一斉テストには真面目に取り組んでいて、好成績を維持できたので、島根大学に合格するという目標に向かって努力を積み重ねました。

あつという間に3年生になり出願書類に取り掛かりました。夏休みから進路指導部の先生につきつきで指導してもらったり、国語科の先生にアドバイスをもらい、志望理由書等を完成させました。試験は読解・表現力試験と、物理の基礎的な質問を含む面接試験がありました。そのため、国語科の先生にお願いし、練習問題の添削指導をしてもらい、間違えた問題は指導を受けた後に解き直し、読解・表現力を鍛えました。また物理に関して物理の先生にお願いし毎日添削指導を受けて基礎を固めて行きました。面接練習では担任の先生だけでなく電気科の先生方、校長先生、教頭先生に時間を割いて頂きました。試験当日は今までの努力を思い出し、自信を持って臨むこ

とができました。

受験を終えてみて、この合格は自分一人の力では掴めなかったと思います。多くの先生方、家族、友達に協力してもらい、そして支えてもらい合格できました。最後になりましたがご指導いただいた先生方、協力してくれた家族、応援してくれた友達、本当にありがとうございました。

「進路実現に向けて」

電子機械科三年 有藤 優

私は幼い頃からものづくりが好きで、将来はものをつくる仕事に就きたいと思い、出雲工業高校に入学しました。しかし、自分の行きたい企業がはつきりと決まっているわけではありませんでした。高校二年生の頃、インターシップで島根島津へ行き、三日間体験させていただき

ました。そのときに社員の方々が黙々と真剣に作業しておられる姿を見て、私もこのような雰囲気の中でのものをつくりたいという思いが生まれました。そして、島根島津は医療機器をつくっておられ、日々誰かの役に立っているということも知りました。これらがあつかけで私は島根島津に入ることを目標に、より一層、学校生活に励みました。その甲斐があり、島根島津が募集する枠に入ることができました。それからSPIや面接練習を毎日行いました。面接練習の最初の頃は、自分の伝えたいことが伝えられなかったり、言葉が詰まったり、質問に答えることができなかつたり

と上手くはできませんでした。

しかし、日々の練習で先生方からアドバイスや修正をしていただき、だんだん自信が出てきて堂々と質問に答えることができるようになりました。面接本番では、緊張はしましたが、不安はなく練習してきたとおりに行うことができました。そして無事に内定をいただくことができました。

私はこの3年間を通して努力することの大切さを学ぶことができました。努力してきたことが必ず報われるとは限りませんが、目標を達成するために努力しないことには始まりません。卒業後も日々努力し続けたいと思います。

最後になりますが、面接練習を行なってくださった先生方、本当にありがとうございました。

編集後記

はじめに、進路情報を発行するにあたりご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年度卒業生は新型コロナウイルスの蔓延により、入学前から今日まで、様々な教育活動が制限されてきました。そうした中、今できる精一杯のことに全力を注ぎ、目の前のハードルを一つひとつ乗り越えてきました。卒業生の皆さんが各方面で活躍してくれることを祈るとともに、その姿が在校生の皆さんにとって希望の光となることを期待しています。

(進路指導部 伊藤 学)